

疫学研究のお知らせ

東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学教室は、下記のように疫学研究を実施しております。本研究は、東京大学医学部倫理委員会での承認を得た上で、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。本研究は既存の国民健康・栄養調査（厚生労働省）のデータ（個人情報を含まない）を使用する後ろ向き研究であり、提供データには一切の個人情報を含みません。

研究計画名

栄養食生活と疾病負荷に関する都道府県レベル研究

研究の意義・目的

保健政策立案や保健介入における優先順位決定のためには、その基礎データとして死亡と障害を含む包括的かつ比較可能な保健アウトカム指標（burden of disease：疾病負荷）が必要です。本研究は、当教室のこれまでの疾病負荷に関する研究成果を元に、(1)栄養・食事リスクに寄る我が国の疾病負荷の推定、また(2)国内で広く推奨されている食事バランスガイドやメニュー等に基づいた食事の健康効果・医療経済効果の推定を行うものです。本研究は、我が国栄養食生活を都道府県レベルで評価し、それらに対応する最善の対策を見つけるためのデータを提示するものです。

研究で使用するデータ・研究方法

本研究は既存の国民健康・栄養調査（厚生労働省）のデータ（個人情報を含まない）を使用する後ろ向き研究です。

本研究では、国民健康・栄養調査からのデータ抽出を厚生労働省に対し申請し、得られたデータ（「提供データ」と呼ぶ）を使用します。個人情報は含まれません。抽出するデータは、昭和50年から平成28年までの身体状況調査票（身長、体重、腹囲、血圧測定、血液検査等）、栄養摂取状況調査票（食品摂取量、栄養素等摂取量等）、そして生活習慣調査票（食生活、身体活動・運動、飲酒、喫煙等）のデータです。これらには、基礎情報（都道府県、性別、年齢等）も含まれます。

個人情報保護について

本研究は既存の国民健康・栄養調査（厚生労働省）のデータ（個人情報を含まない）を使用する後ろ向き研究であり、提供データには一切の個人情報を含みません。

研究機関及び研究責任者

研究機関： 東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学教室

研究責任者： 野村周平 助教

共同研究者： 米岡大輔（日本学術振興会）、黒谷佳代（医薬基盤・健康・栄養研究所）、田中詩織（国立がん研究センター）、Julia Gall（米国ワシントン大学保健指標・保健評価研究所）、中村恵治（味の素株式会社）

研究期間： 承認後～2023年3月31日

本研究に関する費用は、公的機関からの資金から支出されています。具体的には、研究費助成事業基盤研究（A）、研究費助成事業基盤研究（C）の資金です。また、当教室は味の素株式会社と資金提供を受ける共同研究契約を結んでおります（期間：平成30年3月1日～平成31年3月31日）。本研究に関して、その他開示すべき利益相反関係はありません。

データの保存/廃棄方法について

[東京大学大学院医学系研究科]

野村周平助教が管理する研究室の、施錠可能な室内に限定して利用し、それ以外の持ち出しを禁止します。また当助教が研究室内に立ち入る者を管理します。調査票情報を利用する端末はワイヤー等で固定し、外部ならびに内部のネットワークとは物理的に接続しておらず、システムはID及びパスワードの設定によりアクセス制限をします。アンチウイルスソフトの導入、最新のセキュリティパッチの適用などのセキュリティホール対策、スクリーンロック等により不正操作対策が図られています。

調査票情報（転写 CD-R）及び中間生成物は全て外付けハードディスクまたは USB に格納し端末内の記憶装置には一切の情報の蓄積を行いません。これらの情報を利用しないときは、外付けハードディスクまたは USB を端末から外し、施錠可能なボックスに施錠の上保管します。保管管理責任者は野村周平助教とします。

研究期間終了後、情報は廃棄します。書き換え不可能な電子媒体の場合、物理的に破壊してデータ読み取りを不可能にした上で適切に廃棄します。書き換え可能な電子媒体のデータの場合、物理的に破壊してデータ読み取りを不可能にするか、又はダミーデータを複数回上

書きして元のデータを復元不可能な状態にした上で、同様に廃棄します。

[医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所]

黒谷佳代室長が管理する研究室（栄養疫学・食育研究部食育研究室）の、施錠可能な室内に限定して利用し、それ以外の持ち出しを禁止します。また黒谷佳代室長が研究室内に立ち入る者を管理します。外部ならびに内部のネットワークに接続しない端末（ワイヤー等で固定されている）上で調査票情報を利用します。利用する端末については、ID及びパスワードの設定によりアクセス制限しており、アンチウイルスソフトを導入、最新のセキュリティパッチの適用などのセキュリティホール対策の導入、スクリーンロックの導入等により不正操作対策が図られています。

調査票情報（転写 CD-R）及び中間生成物は全て外付けハードディスクまたは USB に格納し端末内の記憶装置には一切の情報の蓄積を行いません。これらの情報を利用しないときは、外付けハードディスクまたは USB を端末から外し、施錠可能なボックスに施錠の上保管します。保管管理責任者は黒谷佳代室長とする。

研究期間終了後、情報は廃棄します。書き換え不可能な電子媒体の場合、物理的に破壊してデータ読み取りを不可能にした上で適切に廃棄します。書き換え可能な電子媒体のデータの場合、物理的に破壊してデータ読み取りを不可能にするか、又はダミーデータを複数回上書きして元のデータを復元不可能な状態にした上で、同様に廃棄します。

[国立がん研究センター]

国立がん研究センター社会と健康研究センター予防研究グループ（センター長：津金昌一郎）が管理する施錠可能なデータ管理室2に限定して利用し、それ以外の持ち出しを禁止します。また当センター長が管理室内に立ち入る者を管理します。データ管理室2においては、原則として管理室の構成員のみが解錠・施錠可能であり、入退出した時刻を記録し、最後に退室する者が必ず施錠を行います。調査票情報を利用する端末はワイヤーで固定されており、外部ならびに内部とのネットワークとは物理的に接続しておらず、パスワード管理、アンチウイルスソフトの導入、最新のセキュリティパッチの適用などのセキュリティホール対策、スクリーンロック等を含む不正操作対策が図られています。

調査票情報（転写CD-R）及び中間生成物は全て外付けハードディスクまたはUSBに格納し端末内の記憶装置には一切の情報の蓄積を行いません。これらの情報を利用しないときは、外付けハードディスクまたはUSBを端末から外し、施錠可能なボックスに施錠の上保管します。保管管理責任者は田中詩織特任研究員とする。

研究期間終了後、情報は廃棄します。書き換え不可能な電子媒体の場合、物理的に破壊してデータ読み取りを不可能にした上で適切に廃棄します。書き換え可能な電子媒体のデー

タの場合、物理的に破壊してデータ読み取りを不可能にするか、又はダミーデータを複数回
上書きして元のデータを復元不可能な状態にした上で、同様に廃棄します。

問い合わせ先

東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学教室

野村周平 助教

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

電話: 03-5841-3688

FAX: 03-5841-3637